国立大学法人
福島大学
Fukushima University

プレス発表資料６

令和５年２月１日

大学生向けのスタディツアー「富岡×仕事 魅力発掘 １日インターン―共に考えよう　福島浜通りの未来」を実施

2023 年 2 月 24 日（金）、福島大学地域未来デザインセンター相双地域支援サテライトでは、福島県内外の大学生を対象としたスタディツアー「富岡×仕事 魅力発掘１日インターン―共に考えよう　福島浜通りの未来」を実施します。
2023 年夏に富岡町の一般社団法人「とみおかプラス」が実施するインターンシッププログラム開発に、同サテライトも連携し、福島大学生等によるプログラム開発を行う予定としており、そのプレ企画として実施するものです。

東日本大震災・原子力災害で、甚大な被害を受けた双葉郡等、福島県内 12 市町村を支援する、福島大学地域未来デザインセンター相双地域支援サテライトでは、2023 年 2 月 24 日（金）に、福島県富岡町にて福島県内外の大学生を対象としたスタディツアー「富岡×仕事 魅力発掘１日インターン―共に考えよう 福島浜通りの未来」を実施します。富岡町の後援を受け、富岡町で移住・定住支援を行う一般社団法人「とみおかプラス」と連携して実施するものです。

「とみおかプラス」は、富岡町との連携の下、2023 年夏に地元企業、事業所でのインターンシッププログラムの実施を計画しており、プログラム開発について、福島大学地域未来デザインセンター相双地域支援サテライトと連携し、福島大学生等、現役の大学生の意見にもとづき、大学生と地域の双方にとって魅力的なインターンシッププログラムの開発を行う予定です。今回のツアーは、そのプレ企画として実施するもので、富岡町内の 3 事業所等より大学生が話を聞き、ワークショップでインターンシッププログラムについての提案などを大学生から行ってもらいます。

参加定員は 20 名で、福島大学生のほか、県内外の大学生等の参加を募っております。ツアーのプログラム等については、添付の学生募集用のチラシをご参照下さい。ツアー当日等、ぜひ取材いただければ幸いです。

（お問い合わせ先）
地域未来デザインセンター・特任准教授
復興創生担当　　藤室　玲治
電　話：024-504-2877、090-8379-9969
メール：r413@ipc.fukushima-u.ac.jp

スタディツアー

富岡×仕事 魅力発掘１日インターン

共に考えよう　福島浜通りの未来

未曽有の原発事故から間もなく 12 年。被災地の福島県浜通りは、真の復興に向け新たな一歩を踏み出そうとしています。この地域の未来を支えるのは、これからここに住み、働こうとする若い皆さんです。浜通りの真ん中に位置し、原子力災害から立ち直りつつある富岡町では、今夏に地元企業・事業所でのインターンシップを計画。本ツアーはそのウオーミングアップとして、復興に汗を流す地域の方々と、会社見学やワークショップを通じて触れ合うものです。新しい町の息吹や浜通りの自然の美しさもぜひ同時に感じてみてください。

日時：2023 年 2 月 24 日(金)　　8：00～19：30

場所：福島県富岡町内

対象：大学生、短期大学生

参加無料

※福島県外の大学生・大学院生の参加も歓迎いたします

集合：8：00　　福島駅西口大型マルチビジョン前　※鉄道利用などで富岡町現地集合も可

解散：19：30　福島駅西口バスプール

定員：20 名　　定員に達した時点で募集を締め切ります

参加企業・事業所：とみおかワインドメーヌ、富岡町観光協会、宮田運輸

応募はこちらから　https://onl.sc/74tXEae

【問い合わせ】　福島大学地域未来デザインセンター相双地域支援サテライト　（担当：佐藤）
電　話：0240-23-6675　　メール：r411@ipc.fukushima-u.ac.jp

■スケジュール

8：00　福島駅集合、大型バスで移動（※鉄道利用者は 10：05 富岡駅集合）

10：30　富岡町（ふたばいんふぉ）着。町の課題や移住推進事業についてレクチャー

11：45　昼食

12：30　地元企業などによるレクチャー

14：30　観光名所や産業団地など町内視察

15：50　インターンシップ実施に向けたワークショップ

17：00　現地出発

19：30　福島駅解散

主会場のふたばいんふぉ

持ち物：ノート、筆記用具、保険証、学生証、昼食代

服　装：町内散策するため、動きやすい服装や靴でおいでください

※国内旅行保険等には加入しません。生協の共済等に加入してください（他の保険でも可）。

※新型コロナウィルス感染防止対策のため、下記のご協力をお願いします。

当日発熱などの症状がある場合は参加をお控えください。

当日は昼食時・移動中も含め、感染対策の徹底にご協力ください。

主催：福島大学地域未来デザインセンター相双地域支援サテライト　協力：とみおかプラス、ふたばいんふぉ　後援：富岡町

■参加企業・事業所

一般社団法人 とみおかワインドメーヌ　～海が見えるワイナリー創業へ～

太平洋を一望する小浜圃場

６年間の全町避難を余儀なくされた富岡町で2016年、ワインを核とした新たなまちづくりとコミュニティーの再形成を目指し、町民有志10人で活動を開始。現在は太平洋を一望できる小浜圃場（ほじょう）とJR富岡駅から徒歩２分の富岡駅東圃場を中心に、約1.8㌶のブドウ畑で約５千本のワイン用ブドウを試験栽培している。2024年には富岡駅から徒歩７分の場所に、津波被害にも耐えた蔵を再利用した海が見えるワイナリーを創業する予定。

一般社団法人 富岡町観光協会　～避難解除控え観光充実図る～

町の代表的な観光名所、夜の森地区の桜並木

同協会は、富岡町を中心とする観光の資源および施設の充実促進を図るとともに、その広報宣伝に務め、協会が行う観光事業を通じて地域の活性化と発展、交流人口の拡大に寄与することを目的にうたう。2022年２月、JR富岡駅構内にリニューアルオープン。桜の名所・夜の森地区が中心の特定復興再生拠点区域（復興拠点）の避難指示が今春解除されるのを控え、さらなる事業発展を期す。地元農産物の販売などを通じて、食の安全性のPRにも努める。

株式会社 宮田運輸　～来年、複合商業施設をオープン～

物流拠点の完成予想イメージ

本社は大阪府高槻市。2019年７月、地元企業の依頼で復興事業を開始した。当地では輸送インフラが脆弱で品物が届きにくいという課題があり、町から強い要請を受けて物流拠点を設け、2023年に完成する。物流事業に関わらず、町の発展に貢献するため、多角的に事業展開することを決め、2024年中に複合商業施設の建設と運営を開始する計画を進めている。モットーは「この町の未来に生きる子どもたちが幸せに過ごせる社会を創る」。